

承認番号 RD6009-037-1
文書番号 21019670
2021年1月20日

壁面タイル施工用接着剤
ME-05 試験成績書

1. 目的

壁面タイル施工用接着剤「ME-05」の接着性能試験を行った。

2. 試験項目

- 2.1. 接着強さ試験 (JIS A 5557 準拠)
- 2.2. 接着強さ試験 (JIS A 5548 タイプ I 準拠)

3. 供試材料

タイル : 磁器質タイル
下地材 : モルタル (70×70×20mm)

4. 試験方法

4.1. 接着強さ試験 (JIS A 5557 準拠)

(1)試験体の作成

下地材に規定のくし目ごて(幅×高さ×ピッチ:5×5×10mm、角ノッチ)を用いて接着剤を塗布し、タイルを張合わせ指圧により圧縮した。

(2)養生条件

標準養生	: 標準状態で 672 時間養生
低温硬化養生	: 低温 5±2℃雰囲気中で 672 時間養生
アルカリ温水浸せき処理	: 標準養生を行った後、60±2℃の水酸化カルシウム飽和水溶液中に 168 時間浸せきし、処理後、試験体を流水で洗浄し 23℃の水中に 24 時間浸せき養生
凍結融解処理	: 標準養生を行った後、15～25℃の水中に 24 時間浸せき後、凍結融解試験装置層内に設置し、-20±3℃の気中で約 2 時間凍結、20±3℃の水中で約 1 時間融解を 1 サイクルとし、これを 200 サイクル行う。 処理後標準状態で 24 時間静置
熱劣化処理	: 標準養生を行った後、高温 80±2℃雰囲気中で 336 時間養生し、養生後標準状態で 24 時間静置

(3)測定条件

テンシロン万能試験機 RTF-2410 により、変位速度 3mm/min にて測定を行った。

4.2. 接着強さ試験 (JIS A 5548 タイプ I 準拠)

(1)試験体の作成

標準状態 (23±2°C、50±10%RH) において、下地材に規定のくし目ごて (幅×高さ×ピッチ : 3×3×6mm、U ノッチ) を用いて接着剤を塗布し、20 分の待ち時間を取った後、1kg の重りで 30 秒間圧縮した。

(2)養生条件

標準 : 標準状態で 168 時間養生
 温水 : 低温養生を行った後、50±2°Cの温水中で 24 時間養生
 熱劣化 : 標準養生を行ったあと 60±2°Cの恒温槽で 672 時間養生
 低温硬化 : 低温養生を行った後、5±2°Cの恒温槽で 672 時間養生
 アルカリ水中 : 標準養生を行った後、23±2°Cの飽和アルカリ水中で 48 時間養生

(3)測定条件

テンシロン万能試験機 RTF-2410 により、変位素速度 3mm/min にて測定を行った。

5. 試験結果

5.1.1. 接着強さ試験 (JIS A 5557 準拠)

表 1. 接着強さ試験結果 (JIS A 5557 準拠)

養生条件	接着強さ N/mm ²	破壊状態 %	判定基準
標準養生	1.8	AB20A77GA3	0.6N/mm ² 以上かつ凝集破壊75%以上
低温硬化養生	1.8	A100	0.4N/mm ² 以上かつ凝集破壊50%以上
アルカリ温水 浸せき処理	2.2	AB3A93GA4	0.4N/mm ² 以上かつ凝集破壊50%以上
凍結融解処理	1.8	A100	0.4N/mm ² 以上かつ凝集破壊50%以上
熱劣化処理	3.7	A63G37	0.4N/mm ² 以上かつ凝集破壊50%以上

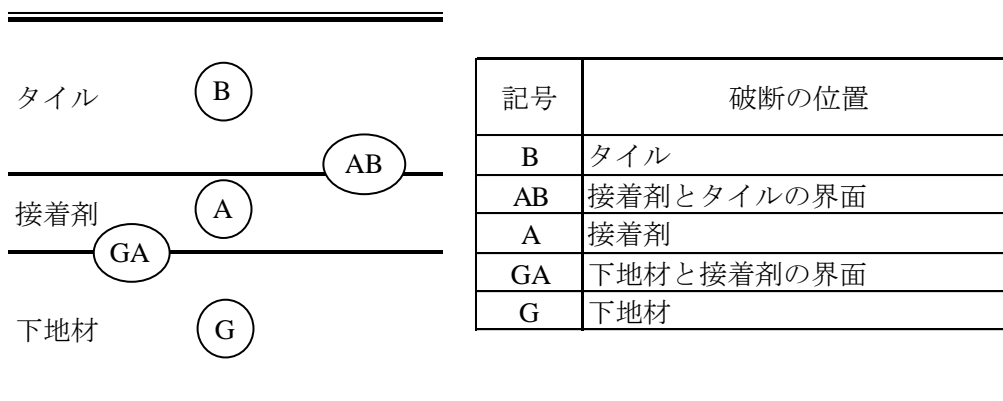


図 1. 破壊状態図

5.1.2. 接着強さ試験 (JIS A 5548 タイプ I 準拠)

表 2. 接着強さ試験結果 (JIS A 5548 タイプ I 準拠)

養生条件	接着強さ N/mm ²	判定基準
標準	1.5	0.6N/mm ² 以上
温水	0.8	0.3N/mm ² 以上
熱劣化	3.1	0.3N/mm ² 以上
低温硬化	2.1	0.3N/mm ² 以上
アルカリ水中	1.8	0.3N/mm ² 以上

●本試験成績書の記載内容は、当社の試験データを基に作成し、十分信頼し得るものと確信しておりますが保証値ではございません。現場施工においては施工箇所環境・使用材料・施工条件などが異なりますので、確実な施工を行う為にも施工前に用途・条件などをご自身で十分ご検討ください。

作成:2013年5月30日(文書番号:13056676)

改正:2021年1月20日(文書番号:21019670)